

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

28年10月26日

和泉市長 あて

団体名 いずみ子ども文楽の会

代表者名 藤原 準

所在地

電話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 いずみ子ども文楽
2. 事業の概要 伝統文化芸能（人形浄瑠璃文楽）の習得と伝承保存  
子ども文楽の稽古及び成果発表  
和泉市等における文楽の情報発信と
3. 事業費総額 461,000円  
（うち、対象経費 461,000円）
4. 交付希望額 230,500円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。  
（  はい ・ いいえ ）
6. 添付書類
  - (1) 団体概要調書（様式第2号）
  - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
  - (3) 事業計画書（様式第3号）
  - (4) 収支予算書（様式第4号）
  - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 団体概要調書

フリガナ	イズミコドモブシラクノカイ		
団体名	いずみ子ども文楽の会		
団体の目的	大阪が発祥の人形浄瑠璃文楽は、演目「芦屋道満大内鑑」の信太の森の母子狐子別れの段の舞台になるなど和泉市に深いゆかりがある。NPO 法人人形浄瑠璃文楽座の技芸員の指導のもとに稽古を積んだ子どもたちが演じる人形浄瑠璃を市民の皆様に楽しんでいただき、伝統芸能文化である文楽の良さや楽しさの発信を目指す。		
市内事務所の所在地	〒594-0042 和泉市箕形町		
	【専用事務所 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話		FAX 同左
フリガナ	ヅラ ヒツ		
代表者氏名	藤原 準		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをした ときに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ 高橋 俊宗		電 話
	高橋 俊宗		FAX 同上
設 立 年 月	平成16年4月	主な活動地域	和泉市内
会報等の発行	有（ 回発行） ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	会員数	20人
メールアドレス			
ホームページ	なし		
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロの技芸員を指導者とする文楽3業の稽古と技能の習得</li> <li>・ 練習成果の発表機会を兼ねて老人保健施設等への訪問公演実施予定</li> </ul>		
主な活動の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成28年度より、原則として、毎月第1土曜日、第4日曜日を練習日と定め練習を進める。</li> <li>・ 市主催の行事に出演依頼があるときは積極的に応じていく。</li> <li>・ 市内及び隣接市の老人養護施設への慰問訪問。</li> </ul>		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	26	伝統文化親子教室(文化庁) 輝け子ども パフォーマー事業(府) ちょいず(市)	35.4万円(文) 30万円(府) 24 万円(市)
	27	伝統文化親子教室(文化庁) ちょいず (市)	35万円(文) 29.4万円(市)
	28	ちょいず(市)	230,927円(市)

事業計画書

<p>申込事業の名称</p>	<p>いずみ子ども文楽</p>
<p>事業の必要性  *別紙添付可</p>	<p>（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 人形浄瑠璃は大人にとって理解が難しくとっつきにくいという側面が大きい。ところが頭や心が柔軟な子どもたちは、文楽を演じる楽しさや深さを知る可能性に溢れている。それは本会の設立がシティプラザ「弥生の風ホール」の柿落とし公演文楽鑑賞での子どもの感動が契機となったことから間違いがない。子供たちの姿が文楽に無関心な大人の心に警鐘を鳴らし大衆芸能である人形浄瑠璃の面白さを呼び起こしてくれる。また子供たち自身にとっても、和泉から世界に飛びだし活動するいわゆる国際社会を生き抜く人間として、体験的に身につけた日本の伝統文化の素養が大きな力になると信じている。</p> <p>（申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果） 本会は設立からすでに10数年を経過しているが、事業の目標は常に次の2点に絞って取り組んできた。第一は参加する子どもたちに本物の人形浄瑠璃に取り組ませること。子どもたちなりの表現力で演技ができるように稽古を積ませることである。第二は子どもが演じる人形浄瑠璃を多くの人に見ていただく機会を作り、その楽しさや面白さを伝えていくことである。 子どもたちの一所懸命の演技に、一人でも多くの市民の心が揺さぶられ文楽を見直すきっかけになればと期待している。</p>
<p>事業内容  *別紙添付可</p>	<p>（主な対象者）事業実施の主体は和泉市立北池田中学校区内の小中学生と卒業生とその保護者・地域住民及び教職員で、事業への参加予定者数は20～30名 （事業実施期間）平成29年6月～30年2月 （事業実施場所）和泉市立いびき野小学校、市内及び隣接市の老人施設、国立文楽劇場ほか</p> <p>（問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか）人形浄瑠璃に関する確かな技術や知識を身につけた子供の育成がまず必要である。そのためにプロの技芸員を指導者に迎え、献身的で熱心な指導を受けている。これまで技芸員と子どものスケジュールが合わず練習は不定期に行ってきたが、29年度は練習日を月の第1土曜と第4日曜にほぼ固定し、練習へ参加をしやすく。地域の住民をはじめ多くの市民に活動を周知し演技をご覧いただくことが必要である。</p>

	28年度から弥生の風ホールでの定期公演会を取りやめることとしたので、今後ますます市民への情報提供の機会の持ち方に創意工夫を凝らし、子ども文楽の可愛さと真剣さを伝えていかなければならないと感じている。	
事業スケジュール	時期 (月) 通年	内容 文楽の三業(義太夫、三味線、人形遣い)のパート別の稽古の実施。(練習は週の第1土曜日午後3時から5時、第4日曜日の午前9時から11時。技芸員による指導は別途調整)
	4, 5月	いずみ子ども文楽の会事務局会議を数回開催、会の組織編成をする。
	6月	29年度の活動を構成する子どもたちを三業のグループに編成し稽古の計画を立てる。
	7月	いずみ子ども文楽の会及び後援会の総会開催
	12月	和泉市や近隣市の高齢者養護施設などを訪問し文楽を演じる。
	1月	いずみ子ども文楽の会及び後援会の第2回総会の開催
	2月	仕上げの公演「いずみ子ども文楽2017」の実施(和泉市立いぶき野小学校体育館)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支予算書

事業の名称：いずみ子ども文楽

## 1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	230,500円	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	0円	
自主財源	230,500円	寄付金、後援会援助金
合計	461,000円	

## 2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	250,000円	10,000×25回（指導者謝礼）
旅費	39,000円	1,560円×25回（指導者往復旅費）
消耗品費	22,000円	三味線糸、プリンターイワ他
委託費	150,000円	三味線、人形等の修理修繕
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合計	461,000円	
対象経費	461,000円	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

## 3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

(  はい ・  いいえ )

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

（ 本会の活動を支援して下さる地域住民、市民、教職員・保護者からなる後援会組織のバックアップが望める。 ）

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。